

2017年3月期
第1四半期
決算説明資料

2016年7月29日

(株)フジ・メディア・ホールディングス

本資料には当社及び当社の関係会社・出資先企業の見通し、目標、予想数値など、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は今後の事業運営、経済情勢、金融市場その他の状況変化等さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

2017年3月期 第1四半期 連結決算概要(累計)

《2016/4～2016/6》

(単位:百万円)

	前期	当期	対前期増減		上期 業績予想 (5/12)	予想 達成率	通期 業績予想 (5/12)
売上高	148,859	151,771	2,912	2.0%	333,700	45.5%	670,500
営業利益	4,476	6,872	2,396	53.5%	11,200	61.4%	27,200
経常利益	6,612	9,450	2,838	42.9%	14,200	66.6%	33,000
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,232	6,772	2,540	60.0%	9,000	75.2%	23,000

セグメント別の売上高及び営業利益(累計)

《2016/4～2016/6》

(単位:百万円)

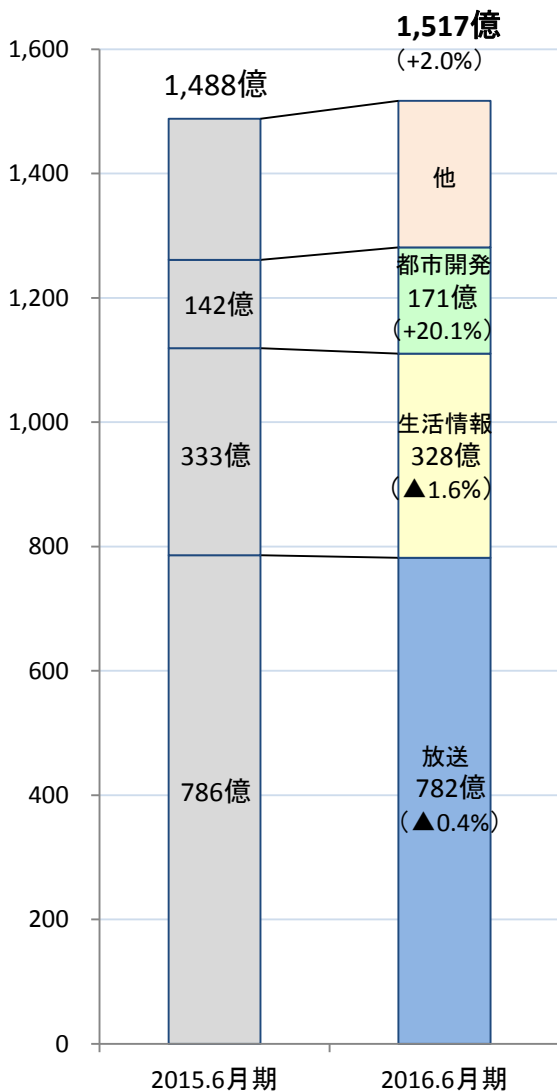
	事業セグメント									合計	調整額	連 損 計 算 上 結 益 書 額
	放 送 事 業	制 作 事 業	映 音 事 業	像 楽 業	生 活 報 業	広 告 事 業	都 開 事 業	市 発 業	そ の 他 事 業			
売上高	当期	78,297	10,508	11,126	32,812	9,830	17,118	6,886	166,580	▲14,809	151,771	
	前期	78,608	11,616	11,459	33,341	8,927	14,255	6,326	164,536	▲15,677	148,859	
	増減	▲311	▲1,108	▲332	▲528	902	2,862	559	2,043	868	2,912	
	増減%	▲0.4%	▲9.5%	▲2.9%	▲1.6%	10.1%	20.1%	8.8%	1.2%	—	2.0%	
営業利益	当期	5,204	54	▲396	416	22	1,478	104	6,884	▲11	6,872	
	前期	4,293	535	▲643	121	▲40	130	13	4,411	64	4,476	
	増減	910	▲481	247	294	62	1,348	90	2,472	▲76	2,396	
	増減%	21.2%	▲89.9%	—	241.6%	—	—	670.9%	56.0%	—	53.5%	

2017年3月期 第1四半期 連結決算概要(前期比較)

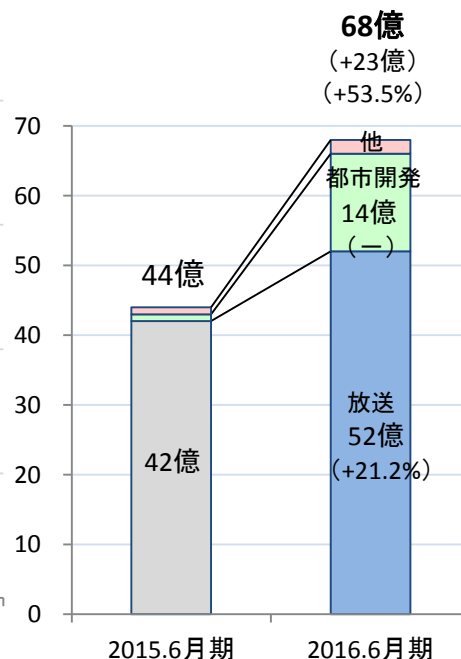
＜主要会社 営業利益内訳＞

(単位:億円)

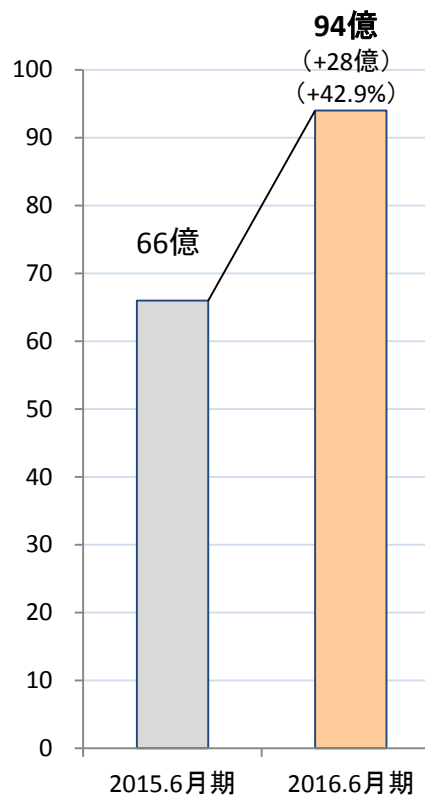
主要社	前期	当期	差額
フジテレビ	36	46	10
サンケイビル	3	12	8
ディノス・セシール	3	5	1
ポニーキャニオン	▲7	▲5	1
グランビスタ	4	2	▲2
BSフジ	6	5	▲0



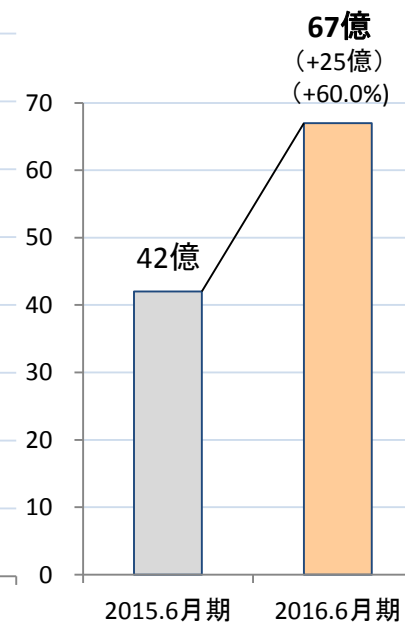
売上高



営業利益



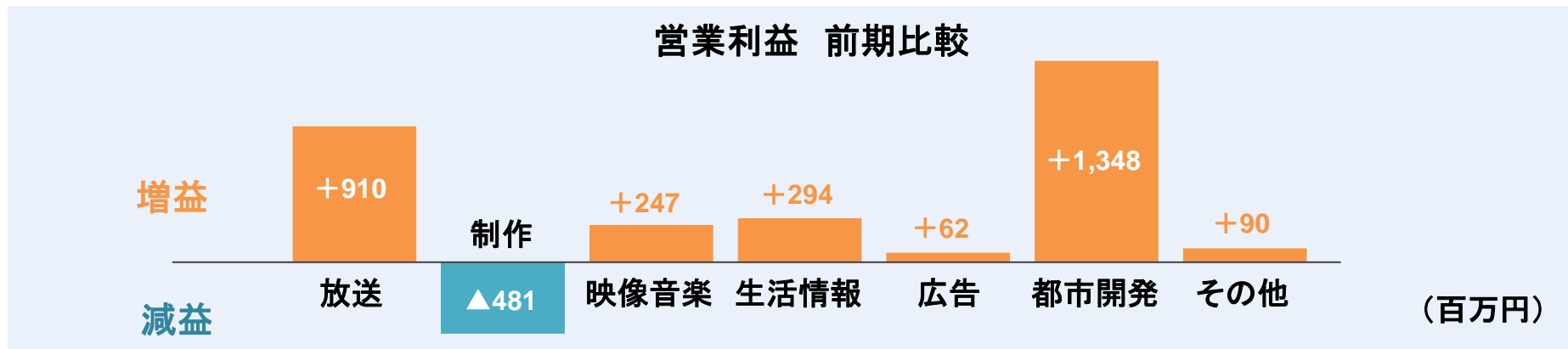
経常利益



親会社株主に帰属する
四半期純利益

第1四半期決算(4月-6月)業績のポイント

連結営業利益68億円 増収増益



フジテレビ

- 放送収入 減収
- イベント、映画などその他事業が収益貢献、コストコントロールにより増益

生活情報 (ディノス・セシール)

- セシール事業 販促施策が奏功、主力カタログの販売が堅調に推移
- ディノス事業 テレビ通販の好調づく
- ディノス事業、セシール事業とも増益

映像音楽 (ポニーキャニオン)

- 第1四半期は大型作品なし 先行的な原価計上もあり営業損失
- パッケージ販売以外の収益は好調 構造改革を進める

都市開発 (サンケイビル/グランビスタ)

- サンケイビル ビル事業(オフィス賃貸)は堅調 資産開発事業が貢献し増収増益
- グランビスタ 一部ホテルの改修工事(7月まで)により減収減益

<セグメント詳細> 放送事業 会社別概要(累計)

《2016/4～2016/6》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
フジテレビジョン	71,856	71,144	▲711 (▲1.0%)	3,663	4,667	1,004 (27.4%)
ニッポン放送	3,462	3,496	33 (1.0%)	58	▲8	▲66 (-)
ビーエスフジ	3,874	4,181	307 (7.9%)	613	549	▲63 (▲10.3%)
セグメント内修正等	▲584	▲524	—	▲41	▲4	—
合計	78,608	78,297	▲311 (▲0.4%)	4,293	5,204	910 (21.2%)

<セグメント詳細>制作事業 会社別概要(累計)

《2016/4～2016/6》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
共同テレビジョン	3,653	3,282	▲370 (▲10.2%)	110	▲77	▲187 (-)
F C C	3,030	3,008	▲21 (▲0.7%)	150	196	46 (30.7%)
その他及び セグメント内修正等	4,933	4,217	—	274	▲65	—
合計	11,616	10,508	▲1,108 (▲9.5%)	535	54	▲481 (▲89.9%)

<セグメント詳細>映像音楽事業 会社別概要(累計)

《2016/4～2016/6》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
ポニーキャニオン	8,022	7,647	▲374 (▲4.7%)	▲714	▲561	152 (-)
その他及び セグメント内修正等	3,437	3,479	—	71	165	—
合 計	11,459	11,126	▲332 (▲2.9%)	▲643	▲396	247 (-)

<セグメント詳細>生活情報事業 会社別概要(累計)

《2016/4～2016/6》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
ディノス・セシール	29,808	29,363	▲445 (▲1.5%)	365	541	176 (48.2%)
サンケイリビング新聞社	2,256	2,206	▲49 (▲2.2%)	▲275	▲140	134 (-)
その他及び セグメント内修正等	1,276	1,242	—	32	16	—
合計	33,341	32,812	▲528 (▲1.6%)	121	416	294 (241.6%)

<セグメント詳細> 広告事業 会社別概要(累計)

《2016/4～2016/6》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
クオラス	8,927	9,830	902 (10.1%)	▲40	22	62 (-)
セグメント内修正等	—	—	—	▲0	▲0	—
合計	8,927	9,830	902 (10.1%)	▲40	22	62 (-)

<セグメント詳細>都市開発事業 会社別概要(累計)

《2016/4～2016/6》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
サンケイビル	5,315	8,833	3,517 (66.2%)	344	1,230	885 (256.8%)
グランビスタ ホテル&リゾート	6,516	6,116	▲400 (▲6.1%)	480	255	▲224 (▲46.8%)
その他及び セグメント内修正等	2,423	2,168	—	▲694	▲7	—
合計	14,255	17,118	2,862 (20.1%)	130	1,478	1,348 (-)

営業外収益・費用の主な内容(累計)

《2016/4～2016/6》

(単位:百万円)

		前 期	当 期	対前期増減	
営業外収益					
受取配当金		1,117	1,248	130	11.7%
持分法による 投資利益		1,050	1,030	▲19	▲1.9%
そ の 他		771	926	155	20.2%
営業外収益合計		2,938	3,205	267	9.1%
営業外費用					
支払利息		465	377	▲87	▲18.9%
そ の 他		337	250	▲87	▲25.8%
営業外費用合計		803	628	▲175	▲21.8%

特別利益・損失の主な内容(累計)

《2016/4～2016/6》

(単位:百万円)

		前 期	当 期	対前期増減	
特 別 利 益					
固 定 資 産	売 却 益	—	0	0	—
投 資 有 価 証 券	売 却 益	1	—	▲1	—
投 資 有 価 証 券	償 還 益	0	—	▲0	—
そ の 他		0	—	▲0	—
特 別 利 益 合 計		2	0	▲1	▲53.0%
特 別 損 失					
固 定 資 産	除 却 損	30	76	46	153.6%
関 係 会 社	清 算 損	18	—	▲18	—
建 替 関 連 損 失		—	79	79	—
そ の 他		19	31	11	59.5%
特 別 損 失 合 計		67	187	119	176.4%

フジテレビの業績

2017年3月期 第1四半期 決算概要

《2016/4～2016/6》

(単位:百万円)

	前期	当期	対前期増減		上期予想 (5/12開示)	通期予想 (5/12開示)
売上高	71,856	71,144	▲711	▲1.0%	146,800	294,200
営業利益	3,663	4,667	1,004	27.4%	2,500	10,000
経常利益	3,970	4,957	986	24.9%	2,600	10,100
四半期純利益	2,618	3,269	650	24.9%	1,500	6,400

放送事業 収入と原価(4月～6月)

(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
放送事業収入	60,290	▲2,712	▲4.3%
放送収入	51,904	▲3,059	▲5.6%
ネットタイム	21,813	▲2,239	▲9.3%
ローカルタイム	3,263	▲87	▲2.6%
スポット	26,826	▲732	▲2.7%
その他 放送事業収入	8,386	347	4.3%
番組販売	4,390	▲89	▲2.0%
C S 放送・その他	3,996	437	12.3%
放送事業原価	39,435	▲1,416	▲3.5%

スポット収入 業種別動向

2016年4月～6月

※管理ベース

業種	前年シェア	シェア	対前期増減
化粧品・トイレタリー	19.2%	19.4%	▲1.8%
情報・通信・放送	9.1%	11.3%	20.6%
非アルコール飲料	10.3%	9.8%	▲7.9%
食品	9.6%	9.7%	▲1.4%
医薬品・医療用品	4.7%	5.6%	16.0%
金融・保険	5.2%	5.5%	3.3%
出版・エンタテインメント	5.3%	4.8%	▲13.1%
流通・小売業	3.8%	4.6%	17.4%
外食・各種サービス	6.5%	4.2%	▲36.1%

業種	前年シェア	シェア	対前期増減
自動車・関連品	5.0%	3.9%	▲24.5%
交通・レジャー・観光	4.1%	3.7%	▲12.3%
衣料・身回品・雑貨	4.4%	3.5%	▲22.3%
アルコール飲料	3.9%	3.4%	▲13.5%
事務・精密・光学機器	4.0%	3.2%	▲21.5%
家電・AV機器	1.3%	2.5%	83.6%
電話サービス	1.7%	1.6%	▲8.8%
不動産・住宅設備	1.5%	1.0%	▲36.3%
エネルギー・機械	0.2%	0.4%	133.7%
その他	0.3%	2.0%	600.4%

番組制作費

(単位:百万円)

	前期	当期	増減
第1四半期	22,206	21,599	▲2.7%
第2四半期	27,307		
上期	49,514		
第3四半期	22,881		
第4四半期	20,840		
下期	43,722		
通期	93,236		

※自社制作番組及び購入番組の直接費

その他事業 収入と原価(4月～6月)

(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
その他事業収入	10,853	2,000	22.6%
催物事業収入	3,677	1,210	49.0%
映画事業収入	2,396	731	43.9%
デジタル事業収入	2,029	173	9.4%
MD事業収入	1,238	▲9	▲0.7%
ビデオ事業収入	621	6	1.1%
その他の収入	888	▲112	▲11.3
その他事業原価	7,958	662	9.1%

販管費及び営業外損益概要(4月～6月)

(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
販売費及び 一般管理費	19,082	▲962	▲4.8%
販売費	13,496	▲636	▲4.5%
一般管理費	5,586	▲325	▲5.5%
営業費用合計	66,476	▲1,716	▲2.5%
営業利益	4,667	1,004	27.4%
営業外収益	364	▲34	▲8.7%
営業外費用	74	▲17	▲18.9%
経常利益	4,957	986	24.9%

フジテレビ 編成

- **引きつづきタイムテーブルを強化**
キッズ、ティーン、20歳代～40歳代の
主要ターゲット層から高い支持獲得を目指す
- **プライムタイムの強いレギュラー番組の
開発・育成が重点課題**
- **次代を担う新たな番組企画の開拓にも注力**

成長分野での取り組み

ゲーム事業 (株)フジゲームス

■新会社がスタート 2016年4月
(「その他事業」セグメント)

【ゲーム事業の目標】

2020年3月期～2021年3月期ころ

売上高100億円、営業利益20億円以上

新規アプリゲーム開発の企画に着手
市場トレンドを見据えコンセプトを検討中
企画プロデュース、プロモーション等、
強みとノウハウを活かし、ヒットを目指す

ロングランヒットを狙う、マルチ展開例

「ファントム オブ キル」
(Fuji&gumi Games)



多彩なファンサービスと
エンゲージメント施策

- ・海外版の配信
- ・コンセプトフィルムの制作
ファンイベントの開催



グッズ販売、ノベライズも

番組配信事業 (フジテレビ デジタル事業)

■事業収支の黒字定着、今期も引き続き
増収を見込み、一層の業績貢献を期待

■新たな配信サービスを開始

定額制(SVOD)サービス

FODプレミアム

「FODプレミアム」月額888円

最新ドラマ、バラエティなど配信対象の全てのフジテレビ番組と、
国内外の映画・アニメなど、総計8,000タイトルが見放題

無料広告、都度課金、定額制の
3種のサービスを提供

幅広いニーズに対応する、
ユニークなプラットフォームを目指す

成長分野での取り組み

■フジテレビにVR事業部を新設（2016年6月）

- ◇ VRコンテンツの企画、制作、イベントの企画運営まで、BtoBを軸に一貫したサービスを提供へ
- ◇ 社内のCG制作、番組制作チームに蓄積された映像制作ノウハウを活用
- ◇ Web技術、アプリ開発力を持つGREE社と提携、互いの強みを活かしたビジネス展開を目指す



ヘッドマウントディスプレイ100台による
VRコンテンツ同時視聴(6月)

■ナイアンティック社に資本参加 (2016年2月)

海外向けのコンテンツビジネス
から発展、将来の成長分野への
布石として出資

- ・オリジナルコンテンツの創出や、中長期的な事業開拓を期待
- ・位置情報テクノロジーや拡張現実技術(AR)を有し、独自の世界観を持つゲーム等を展開する同社と、コンテンツ制作力に強みを持つフジテレビが融合

**2017年3月期
業績予想
(修正なし)**

2017年3月期 業績予想(修正なし)

連結	上期		下期		通期 <small>(単位:百万円)</small>		
	前期	当期予想	前期	当期予想	前期	当期予想	増減
売上高	311,736	333,700	328,835	336,800	640,572	670,500	4.7%
営業利益	4,905	11,200	19,488	16,000	24,394	27,200	11.5%
経常利益	8,170	14,200	24,230	18,800	32,400	33,000	1.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,079	9,000	17,756	14,000	22,835	23,000	0.7%

フジテレビ	上期		下期		通期 <small>(単位:百万円)</small>		
	前期	当期予想	前期	当期予想	前期	当期予想	増減
売上高	146,629	146,800	143,078	147,400	289,708	294,200	1.6%
営業利益	▲1,016	2,500	6,522	7,500	5,506	10,000	81.6%
経常利益	▲203	2,600	6,487	7,500	6,284	10,100	60.7%
当期純利益	▲247	1,500	3,596	4,900	3,348	6,400	91.1%

	上期予想	下期予想	通期予想	
ネットタイム	▲6.0%	0.3%	▲3.0%	
ローカルタイム	▲9.2%	▲7.9%	▲8.6%	
スポット	0.2%	4.2%	2.3%	
放送収入合計	▲3.3%	1.8%	▲0.8%	(前期比)

セグメント別業績予想【通期】(修正なし)

《2016/4～2017/3》

(単位:百万円)

	報告セグメント										その他業 事	合計	調整額	連 損 計 算 上	結 益 書 額
	放 送 事 業	制 作 事 業	映 音 事 業	像 楽 業	生 情 事 業	活 報 業	広 告 事 業	都 開 事 業	市 発 業						
売上高	2017.3月期 通期予想	323,100	50,600	54,100	137,500	43,000	101,900	26,100	736,300	▲65,800	670,500				
	2016.3月期 通期	318,980	50,834	50,104	135,556	42,797	82,668	26,066	707,008	▲66,436	640,572				
	増減%	1.3%	▲0.5%	8.0%	1.4%	0.5%	23.3%	0.1%	4.1%	—	4.7%				
営業利益	2017.3月期 通期予想	12,600	1,900	1,700	1,600	400	8,500	700	27,400	▲200	27,200				
	2016.3月期 通期	8,073	2,093	2,365	1,223	361	9,441	541	24,100	294	24,394				
	増減%	56.1%	▲9.3%	▲28.1%	30.8%	10.7%	▲10.0%	29.2%	13.7%	—	11.5%				

セグメント別業績予想【上期】(修正なし)

《2016/4～2016/9》

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他業 事	合計	調整額	連 損 計 算 上	結 益 書 額
	放 送 事 業	制 作 事 業	映 音 事 業	像 楽 業	生 情 事 業	活 報 業	広 告 事 業					
売上高	2017.3月期 上期予想	161,100	25,000	26,700	64,100	21,100	55,600	12,700	366,300	▲32,600	333,700	
	2016.3月期 上期	160,492	26,494	23,862	63,208	19,899	39,094	12,892	345,945	▲34,208	311,736	
	増減%	0.4%	▲5.6%	11.9%	1.4%	6.0%	42.2%	▲1.5%	5.9%	—	7.0%	
営業利益	2017.3月期 上期予想	3,800	800	100	▲200	200	6,100	400	11,200	0	11,200	
	2016.3月期 上期	442	1,442	▲139	▲478	108	3,157	272	4,805	100	4,905	
	増減%	759.6%	▲44.6%	—	—	83.6%	93.2%	46.7%	133.1%	—	128.3%	

設備投資計画と減価償却費

(単位:百万円)

		2017年3月期		2018年3月期 通期 (計画)
		第1四半期 (実績)	通期 (計画)	
設備投資額	連 結	13,156	45,200	51,300
	フジテレビ	1,446	6,700	11,500
	都市開発事業	9,911	33,000	36,700
	フジ・メディアHD	6	500	500
減価償却費	連 結	4,473	19,600	21,000
	フジテレビ	1,876	8,800	9,200
	都市開発事業	1,203	4,800	5,900
	フジ・メディアHD	570	2,400	2,400

セグメント情報(連結子会社)

範囲	会社名	会社数
放送	フジテレビジョン、ニッポン放送、ビーエスフジ	3社
制作	共同テレビジョン、フジアール、フジ・メディア・テクノロジー、共同エディット、ベイシス、バンエイト、フジクリエイティブコーポレーション、バスク、NEXTEP	9社
映像音楽	フジパシフィックミュージック、フジ・ミュージックパートナーズ、シンコーミュージック・パブリッシャーズ、ポニーキャニオン、ポニーキャニオンエンタープライズ、エグジットチューンズ、Fuji Music Group Inc.、ARC MUSIC INC、ARC/CONRAD MUSIC LLC	9社
生活情報	ディノス・セシール、サンケイリビング新聞、リビングプロシード、ディノス・セシールコミュニケーションズ	4社
広告	クオラス	1社
都市開発	サンケイビル、サンケイ会館、サンケイビルテクノ、サンケイビルマネジメント、サンケイビルウェルケア、グランビスタホールディングス、グランビスタホテル&リゾート、SKB USA LLC、SKB Seattle LLC	9社
その他	フジミック、フジキャリアデザイン、扶桑社、ニッポン放送プロジェクト、FCI、 フジゲームス	6社
合計		41社

※赤色は当期から連結

